

技能検定優良事業所等 推薦調書（記載例）

1. 事業所名又は団体名（ふりがな）

〇〇〇〇株式会社（〇〇〇〇かぶしきがいしゃ）
又は〇〇県〇〇〇〇組合連合会（〇〇けん〇〇〇〇くみあいれんごうかい）

2. 事業主名又は代表者名（ふりがな）

代表取締役社長 〇〇 〇〇（〇〇 〇〇）

3. 事業所又は団体の主たる事務所の所在地（ふりがな）、郵便番号及び電話番号

〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地の〇〇
（〇〇けん〇〇し〇〇まち〇ちょうめ〇〇ばんちの〇〇）
郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇 電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇（代）

4. 被表彰歴

労働大臣感謝状（〇〇〇〇の功績による） 昭和〇〇年〇〇月〇〇日
厚生労働大臣感謝状（〇〇〇〇の功績による） 平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県知事感謝状（〇〇〇〇の功績による） 昭和〇〇年〇〇月〇〇日
〇〇〇〇〇感謝状（〇〇〇〇の功績による） 平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇省〇〇局長感謝状（〇〇〇〇の功績による） 昭和〇〇年〇〇月〇〇日
（社）全国〇〇組合連合会会長感謝状（〇〇〇〇の功績による） 平成〇〇年〇〇月〇〇日

5. 推薦理由

当該事業所（団体）は〇〇〇における技能検定に関し、〇〇〇〇に対し〇〇〇〇を図り、〇〇〇と〇〇〇に〇〇〇し、その結果、平成〇年までに〇〇〇名の〇〇〇を輩出している。また、〇〇〇に対しては、〇〇〇〇を奨励し、そのため、〇〇〇講習会を実施している。

6. 推薦者

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

（注）1 事業所名又は団体名は、正式な名称を明確に記入すること。

2 被表彰歴は、技能検定関係のみに限定せず、職業能力開発関係全般におけるものとする。また、表彰状又は感謝状の別、表彰者、表彰年月日及び事由を明確に記入すること。

3 「推薦理由」欄には、技能検定実施に当たっての協力状況を総括的に記入すること。

様式第7の2（事業所用）

1. 労働者数及び事業の種類

労働者数	現場一般従業員数	名	うち技能士数 (特級 名、1 級 (単一等級) 名、2 級 名、3 級 名)
	職長等	名	うち技能士数 (特級 名、1 級 (単一等級) 名、2 級 名、3 級 名)
	合 計	名	うち技能士数 (特級 名、1 級 (単一等級) 名、2 級 名、3 級 名)
事業の種類			

- (注) 1 「職長等」欄は、課長○名、係長○名、班長○名等、職名ごとに記入すること。
2 「事業の種類」欄は、日本標準産業分類の中分類により記入すること。
3 複数の職種・作業で技能士資格を持つ者については、重複計上はせず、有する技能士資格のうち最も上位の等級で1名と計上すること。

2. 技能検定受検者数（過去5年間）

区 分	計	特 級	1 級 (単一等級)	2 級	3 級
令和2年度 (○職種 ○作業)	○○○ (○○○)	○○ (○○)	○○ (○○)	○○○ (○○○)	○○ (○○)
令和3年度 (○職種 ○作業)	○○○ (○○○)	○○ (○○)	○○ (○○)	○○○ (○○○)	○○ (○○)
令和4年度 (○職種 ○作業)	○○○ (○○○)	○○ (○○)	○○ (○○)	○○○ (○○○)	○○ (○○)
令和5年度 (○職種 ○作業)	○○○ (○○○)	○○ (○○)	○○ (○○)	○○○ (○○○)	○○ (○○)
令和6年度 (○職種 ○作業)	○○○ (○○○)	○○ (○○)	○○ (○○)	○○○ (○○○)	○○ (○○)
累 計	○, ○○○ (○, ○○○)	○○○ (○○○)	○○○ (○○○)	○○○ (○○○)	○○○ (○○○)

- (注) 1 () 内には合格者数を記入すること。
2 「職種、作業」欄は名称を記入すること。なお、同じ年度であっても職種、作業ごとに作成すること。

3. 技能検定受検に関する便宜供与（受検手数料の会社負担、受検時の出勤扱い、講習会の実施等についてその措置の内容）

便宜供与措置の種類	実 施 状 況	備 考
○○○○の会社負担 ○○○の出勤扱い ○○○○職種講習会 検定に関する○○○の 提供	○回目まで○○負担、○回以降○分の○負担 ○○、○○扱い ○○○に対し、○○○○に講習会を実施 ○○○に対する○○及び○○の○○提供	昭和○○年○月開始 昭和○○年○月開始 昭和○○年○月開始 昭和○○年○月開始

- (注) 1 「備考」欄には、措置開始年度等を記入すること。
2 内容のわかる参考資料を添付すること。

4. 技能検定合格者（技能士）に対する優遇措置状況

(1) 賃金体系上の措置（昇給、一時金の支給等）

- ・ 毎月、〇〇〇手当を支給している（特級〇円、1級〇円、2級〇円、3級〇円）。
- ・ 〇〇〇に一時金を〇〇〇している（特級〇円、1級〇円、2級〇円、3級〇円）。

(注) 技能士手当等を支給している場合には、その額等を記入すること。

(2) その他の処遇状況（職名の昇格等）

〇級合格者に対しては職長へ登用している
(特級は〇〇長、1級は〇長、2級は〇長、3級は〇長)。

5. 技能検定試験場の提供、技能検定委員又は補佐員の派遣等技能検定実施に対する協力状況
(過去5年間)

年 度	職種（作業）	会場提供 の 有 無	技能検定委員 の 派 遣	補 佐 員 の 派 遣	資材等 の 供 与	備 考
令和2年度	〇〇〇職種 (〇〇作業)	〇〇会場	〇〇 人	〇〇 人	〇〇	
	〇〇〇職種	〇〇会場			〇〇	
令和6年度	〇〇〇職種 (〇〇作業)	〇〇会場	〇〇	〇〇	〇〇	
	〇〇〇職種 (〇〇作業)	〇〇会場			〇〇	
合計（延数）		※ 〇〇	〇〇〇	〇〇〇		

- (注) 1 「職種（作業）」欄には、各年度における技能検定実施に対する協力職種（作業）名を記入し、当該職種（作業）について、それぞれ会場提供の有無、技能検定委員派遣人数等を記入すること。
- 2 「合計（延数）」欄の※欄には、会場提供の有の延合計数を記入すること。

6. 技能コンクールの開催、援助等技能向上のための諸措置（過去5年間）

項 目	開 催 年 月 日	参 加 者 数	実 施 状 況	備 考
第〇〇回〇〇技能コンクール	平成〇年〇月〇日	〇〇〇人	〇〇〇、〇〇〇の後援により実施	
第〇回〇〇技能競技大会	平成〇年〇月〇日	〇〇〇人	〇〇〇、〇〇〇の後援により実施	

7. その他事業所において技能検定の促進、普及のためにとられている措置

措 置 内 容	実 施 状 況	備 考
技能検定〇〇用の〇〇〇〇の斡旋 技能検定〇〇〇講習会の実施	「技能検定〇〇〇」（〇〇〇発行）をまとめて購入し、安価での斡旋をしている。 〇〇職種における〇〇及び〇〇〇〇の〇〇〇〇及び〇〇〇〇について〇〇を〇〇として実施している。	受検者〇〇〇人のうち、〇〇人が購入 〇〇人が参加。 〇〇にて実施

様式第7の3（団体用）

1. 団体の会員数及び事業内容等

設 立 年 月 日 (許可年月日)	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (昭和〇〇年〇〇月〇〇日許可)	法 的 根 拠 (主務官庁)	〇〇〇〇〇法 (〇〇県)
会 員 数 又 は 基 本 財 産	会 員 数 〇〇事業所、〇〇団体	全従業員数のうち技能士数	
	全従業員数 〇, 〇〇〇 名	特 級 〇〇 名 1 級 (単一等級) 〇〇〇 名 2 級 〇〇〇 名 3 級 〇〇〇 名 合 計 〇〇〇 名	
基 本 財 産	〇〇, 〇〇〇 千円		
年 予 算 額	〇, 〇〇〇 千円 会 費 〇, 〇〇〇 千円 補助金 〇, 〇〇〇 千円	活 動 範 囲	〇〇県内全域 (〇〇一円)
事 業 内 容	1 〇〇〇〇〇に關すること 2 〇〇〇〇〇に關すること 3 〇〇〇〇〇に關すること 4 〇〇〇〇〇に關すること 5 〇〇〇〇〇に關すること 6 その他、当団体の目的を達成 するに必要な事業	役職員構成	会長 (理事長) 〇名 副会長 (副理事長) 〇名 専務理事 〇名 理 事 〇名 監 事 〇名 事務局職員 〇名
沿 革	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 当初任意団体として設立 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇県の認可により法人化 名称を (社) 〇〇連合会と変更	備 考	上部組織 (社) 全国〇〇〇〇〇協会 (昭和〇〇年〇〇月加入) 調査年月日 令和〇年〇〇月〇〇日

(注) 1 組織図及び定款を添付すること。
2 「設立年月日」欄には、公益法人のように主務官庁の許可を得る場合には、その許可年月日を () 書きすること。
3 「法的根拠」欄には、社団法人、任意団体等の別を明らかにし、法律に基づくものは、その法律名を記入し、() 内に主務官庁名を付記すること。
4 「会員数又は基本財産」欄の会員数には、連合団体の場合は、加盟団体数及び加盟団体の会員数を、それ以外については会員数を記入すること。また、全従業員数には、会員又は会員の雇用する労働者の合計を記入すること。なお、公益財団法人、一般財団法人又は財団法人については、基本財産を記入すること。
5 「年予算額」欄には、今年度予算額及びその予算の出所 (例えば、補助金、会費等) を具体的に記入すること。
6 「活動範囲」欄には、実際に活動している範囲 (全国、県、郡、市町村等) を記入すること。
7 「事業内容」欄には、事業の内容を具体的に記入すること。
8 「役職員構成」欄には、役職の名称とその員数、また、事務局がある場合には、職員数を記入すること。
9 「沿革」欄には、設立、合併、分離、組織及び名称の変更等を具体的に記入すること。
10 「備考」欄には、連合会等の上部組織がある場合に、加入しているかどうか、また、調査年月日及び補足事項等を記入すること。

2. 会員又は会員の雇用する労働者の技能検定受検者数（過去5年間）

区 分	計	特 級	1級(単一等級)	2 級	3 級
令和2年度 (〇職種 〇作業)	〇〇〇 (〇〇〇)	()	()	()	()
令和3年度 (〇職種 〇作業)	〇〇〇 (〇〇〇)	()	()	()	()
令和4年度 (〇職種 〇作業)	〇〇〇 (〇〇〇)	()	()	()	()
令和5年度 (〇職種 〇作業)	〇〇〇 (〇〇〇)	()	()	()	()
令和6年度 (〇職種 〇作業)	〇〇〇 (〇〇〇)	()	()	()	()
累 計	〇, 〇〇〇 (〇, 〇〇〇)	()	()	()	()

- (注) 1 () 内には合格者数を記入すること。
2 「職種、作業」欄には名称を記入すること。なお、同じ年度であっても職種、作業ごとに作成すること。

3. 技能検定受検に関しての会員への指導等
(1)技能検定推進に対する予算措置状況（過去5年間）

年 度	予 算 総 額	うち技能検定推進のための予算額	備 考
令和2年度	〇〇, 〇〇〇千円	〇, 〇〇〇千円 (〇〇%)	技能検定関係の予算措置については〇〇であり、今後は〇〇とすることとしている
令和3年度	〇〇, 〇〇〇千円	〇, 〇〇〇千円 (〇〇%)	
令和4年度	〇〇, 〇〇〇千円	〇, 〇〇〇千円 (〇〇%)	
令和5年度	〇〇, 〇〇〇千円	〇, 〇〇〇千円 (〇〇%)	
令和6年度	〇〇, 〇〇〇千円	〇, 〇〇〇千円 (〇〇%)	

- (注) 1 () 内には総額に占める割合を記入すること。
2 令和6年度決算報告書を添付すること。

(2)会員への便宜供与（講習会等の実施について）

項 目	開 始 年 月 日	参 加 人 員	実 施 状 況	備 考
〇〇〇職種講習会	昭和〇〇年〇月〇日	〇〇〇人	今年度は〇〇支部にて、〇月〇日から〇日間の日程で開催	次回は〇〇支部で 〇〇 〇〇費 〇〇〇円
〇〇〇研修会	平成〇〇年〇月〇日	〇〇〇人	〇〇センターで実施	

(注) 前年度の事業報告書及び必要な参考資料を添付すること。

4. 技能検定委員又は補佐員の派遣及び技能検定受検申請に係る援助の状況（過去5年間）

年 度	技能検定委員 の 派 遣	補佐員 の派遣	技能検定受検申請に係る援助状況	備 考
令和2年度	人 〇〇 〇〇	人 〇〇 〇		〇作業 〇作業
令和6年度	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		〇作業 〇作業
累 計	〇〇〇	〇〇〇		〇〇

(注) 1 技能検定委員数及び補佐員数は、当該年度における延人数を記入すること。
2 「備考」欄には、職種（作業）数を記入すること。

5. 技能コンクールの開催、援助等技能向上のための諸措置（過去5年間）

措 置	実 施 状 況	備 考
〇〇技能コンクール 〇〇〇技能競技大会 〇〇技能コンクール 〇〇〇技能競技大会 〇〇技能コンクール 〇〇〇技能競技大会	〇〇後援、〇〇〇協賛で実施 〇〇後援、〇〇〇協賛で実施 〇〇後援、〇〇〇協賛で実施 〇〇後援、〇〇〇協賛で実施 〇〇後援、〇〇〇協賛で実施 〇〇後援、〇〇〇協賛で実施	平成〇年〇月〇日（〇人） 平成〇年〇月〇日（〇人） 平成〇年〇月〇日（〇人） 平成〇年〇月〇日（〇人） 平成〇年〇月〇日（〇人） 平成〇年〇月〇日（〇人）

(注) 「備考」欄には、実施年月日、参加人数等について記入すること。

6. 技能士に対する優遇措置

措 置	実 施 状 況	備 考
傘下の事業所への〇〇に対する〇〇 の働きかけ	傘下の〇〇事業所に〇〇した 結果〇〇事業所において〇〇 を決定	令和〇年以降、〇〇事業 所にて〇〇予定

7. その他技能検定の普及促進のために団体が行っている活動

措 置	実 施 状 況	備 考
〇〇職種に関する〇〇〇の〇〇及び 〇〇活動	平成〇年〇月〇日から〇月〇 日までの間、〇〇等で〇〇を 実施	令和〇年以降は〇〇〇を 予定

(注) 6、7の項目について該当するものがある場合には、上記5の様式により記入すること。